
MAKING THE IMAGE INTELLIGENT



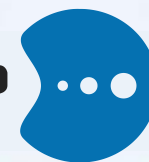
2023年3月期

決算説明会

株式会社デジタルメディアプロフェッショナル

2023年5月12日

本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。様々な要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。



1

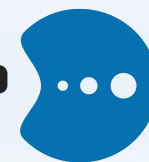
2023年3月期 決算と取り組み成果

2

2024年3月期 業績予想

3

2024年3月期 重点施策



1

2023年3月期 決算と取り組み成果

2

2024年3月期 業績予想

3

2024年3月期 重点施策

世界有数のグラフィックスIPベンダーとしての創業以来の経験・知見を活かし、近年は**アルゴリズム・ソフトウェアからハードウェア**、並びに**エッジからクラウド**に亘る一貫したAIサービスの提供により、お客様や社会の課題解決に貢献しています

会社名	株式会社デジタルメディアプロフェッショナル (DMP)
設立	2002年7月 (2011年6月東証マザーズ上場, 2022年4月東証グロース移行)
所在地	東京都中野区
代表者	代表取締役会長兼社長CEO 山本 達夫
資本金	1,838百万円
連結従業員数	65名 (2023年3月31日現在)
特許数	35件
連結子会社	Digital Media Professionals Vietnam Company Limited

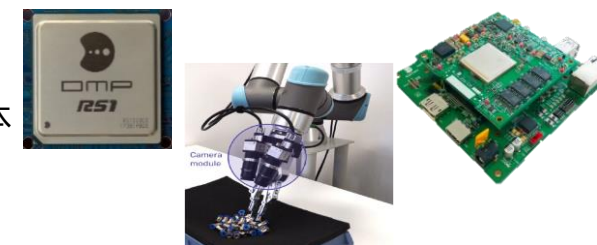
IPコアライセンス事業

- ・AI/GPU IPコアライセンス
- ・AIソフトウェアライセンス



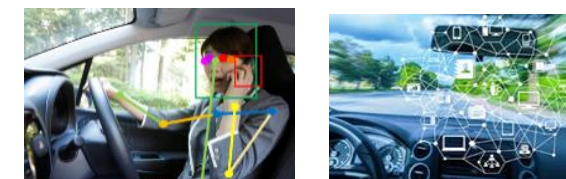
製品事業

- ・アミューズメント市場向け画像処理半導体
- ・協働ロボット向けビジョンシステム
- ・AI FPGAモジュール



プロフェッショナルサービス事業

- ・AIアルゴリズム、コンピュータビジョンソフトウェア受託開発
- ・FPGA/ボード受託開発
- ・安全運転支援システム、ロボティクスに係る顧客製品・サービス開発サポート



- 通期の売上高は過去最高を更新。営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、2020年3月期（個別決算）以来、3期ぶりに黒字達成
- ロボティクス分野は、顧客研究開発案件減により、プロフェッショナルサービス事業が減少も、アミューズメント分野が大幅増収、セーフティ分野及びその他IP分野も拡大

全社	事業別売上高	分野別売上高	
売上高	IPコアライセンス	セーフティ	ロボティクス
2,322 百万円 (YoY※ +39%)	261 百万円 (YoY +50%)	170 百万円 (YoY +4%)	185 百万円 (YoY △21%)
経常利益	製品	アミューズメント	その他
28 百万円 (YoY +151百万円)	1,956 百万円 (YoY +63%)	1,821 百万円 (YoY +58%)	144 百万円 (YoY +29%)
	プロフェッショナルサービス		
	104 百万円 (YoY △65%)		

※ YoY(Year on Year): 前年同期比

製品事業、IPコアライセンス事業の売上拡大により大幅増収、黒字化を達成

(単位：百万円)	2022年3月期 実績	2023年3月期		対前年度 増減額	対予想 増減額
		5/13期初予想	実績		
売上高	1,667	2,370	2,322	+654	△47
営業利益	△126	25	27	+153	+2
経常利益	△122	25	28	+151	+3
親会社株主に帰属 する当期純利益	△157	20	22	+179	+2

- アミューズメント分野を中心にした製品事業の増収、主にセーフティ分野のリカーリング収益拡大に伴うIPコアライセンス事業の増収により、売上高は39.2%の増収
営業利益は153百万円改善により黒字転換
- 経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益も黒字転換

● 事業別売上高

IPコアライセンス事業 **261百万円** 前年同期 173百万円

- デジタル機器向けGPUライセンス、AI/GPUランニングロイヤリティ、セーフティ分野/ロボティクス分野におけるリカーリング収益、メンテナンス・サポート収入等を計上

製品事業 **1,956百万円** 前年同期 1,199百万円

- RS1の量産出荷を継続するとともに、業務用車両の周辺監視用途ZIA C3キット量産出荷、量産ドローン向けカメラモジュール、Cambrianビジョンシステム等の売上を計上

プロフェッショナルサービス事業 **104百万円** 前年同期 295百万円

- セーフティ、ロボティクス、アミューズメント分野の受託開発サービス収入を計上
- ロボティクス分野顧客の研究開発案件が減少

● 分野別売上高

セーフティ分野 **170百万円** 前年同期 163百万円

- ドライブレコーダー関連のリカーリング収益(OTA※含むランニングロイヤリティ、サブスクリプションフィー)、プロフェッショナルサービス収入を計上
- 業務用車両の周辺監視用途ZIA C3キットの量産出荷売上を計上

ロボティクス分野 **185百万円** 前年同期 236百万円

- 量産ドローン向けカメラモジュール、Cambrianビジョンシステム等の売上計上
- 顧客の研究開発減により、プロフェッショナルサービス事業が減収

アミューズメント分野 **1,821百万円** 前年同期 1,155百万円

- RS1の量産出荷売上を計上

その他分野 **144百万円** 前年同期 111百万円

- デジタル機器向けGPUライセンス、AI/GPU IPランニングロイヤリティ、IPメンテナンス・サポート収入を計上

※ OTA(Over-the-Air): 無線通信を経由してデータ(ソフトウェア)を送受信する技術。エンドユーザー車両にすでに搭載されているドライブレコーダーに、当社のソフトウェアを無線で実装

自己資本比率は81.3%と高水準を維持

運転資金や研究開発体制の充実に向けた投資の資金を継続確保

(単位：百万円)		2022年 3月末	2023年 3月末	増減額	主な内訳
	流動資産	2,784	3,683	+899	売掛金及び契約資産 +444 現預金 +433
	固定資産	688	158	△529	投資有価証券 △499
資産合計		3,472	3,842	+369	
	流動負債	358	700	+341	買掛金 +292
	固定負債	18	17	△0	
負債合計		376	717	+341	
純資産合計		3,095	3,124	+28	利益剰余金 +22
負債・純資産合計		3,472	3,842	+369	

- OTA (Over the Air) 案件を含むエッジからクラウドに亘る既存プロジェクトからのリカーリング収益を獲得するとともに、新規顧客や既存顧客の新規プロジェクト向けに新規ライセンスやプロフェッショナルサービスを提供
- より広範なセーフティ分野に向け、研究開発を継続

ZiA™ SAFE

エッジAI(推論)

- ・リアルタイム認識
- ・プライバシー、セキュリティー
- ・送信データ量削減



車外・車内（ドライバー）監視

JVCKENWOOD
DENSO TEN

人とクルマを笑顔でつなぐ
住友三井オートサービス

ZiA™ Cloud SAFE

**SaaS型クラウドAI
(推論&学習)**

- ・API提供
- ・拡張性
- ・高精度認識
- ・24/7運用
- ・継続学習



スマートシティ

公共安全

地方自治体
公共交通機関

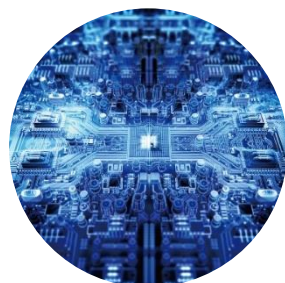
- The diagram illustrates the ZIA MOVE system architecture and its components. At the top, a circular flowchart shows the process: **認知** (Cognition) → **判断** (Judgment) → **操作** (Operation) → **認知** (Cognition). Below this flowchart, the text **ZIA MOVE** is displayed. To the left, a circular inset image shows a robotic gripper picking up a small metal part from a blue tray filled with many similar parts. To the right, a large image shows the **先端AMR** (Front-End Autonomous Mobile Robot), which is a white, box-like robot with a robotic arm mounted on top, capable of autonomous movement and material handling.



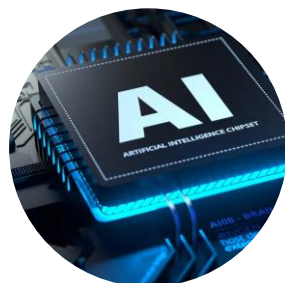
- リアルタイム3Dエンジンと高性能・高圧縮動画エンジンをワンチップ化（業界初）
美しい映像表現と遊技機筐体コスト削減を両立
- 稼働が好調な6.5号機、スマートパチスロを含むパチスロ向けを中心にRS1の量産出荷を継続
- RS1を搭載したZEEG筐体の販売が10機種ならびに10万台を突破（2022年12月）



- お客様のデジタル機器のアプリケーション、搭載SoCに最適な小サイズ、低消費電力、高性能なIPを提供
- 高精細エッジAIプロセッサ「ZIA DV720」がTVS REGZAの4Kテレビ「レグザ」の新商品2シリーズに採用され、当期よりランニングロイヤリティ収入を計上
- 現行製品の性能を大きく上回るAI IPプロセッサの開発が大詰め



GPU IP



AI IP

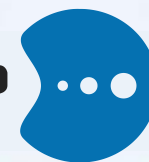


RENESAS

FUJIFILM
Value from Innovation

OM SYSTEM

REGZA



1 2023年3月期 決算と取り組み成果

2 2024年3月期 業績予想

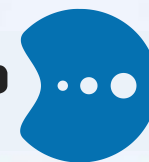
3 2024年3月期 重点施策

2024年3月期は12%の増収、黒字拡大を予想

パーパス「Making the Image Intelligent」のもと、「安全安心社会の実現」、「社会課題の解決」に貢献するとともに、画像処理半導体の安定成長を目指す

(単位：百万円)	2023年3月期 (実績)	2024年3月期 (予想)
売上高	2,322	2,600
営業利益	27	150
経常利益	28	150
親会社株主に帰属 する当期純利益	22	120

- ・ アミューズメント分野：画像処理半導体RS1が安定成長（メーカーの部材調達、製造キャパ確保の課題を考慮）
- ・ セーフティ分野：エッジからクラウドに対応するZIA SAFEシリーズの強みを生かし、既存顧客深耕、新規顧客獲得より広範なセーフティ分野向けもPoC中心からスケールを目指す
- ・ ロボティクス分野：ZIA MOVE/SV、Cambrianビジョンシステム等の強みにより、自律走行ロボット、協働ロボット市場を攻略
- ・ その他分野（IP）：GPU IPランニングロイヤリティ等の安定ビジネス基盤に加え、新規IPビジネスを獲得



1 2023年3月期 決算と取り組み成果

2 2024年3月期 業績予想

3 2024年3月期 重点施策



Our Purpose

Making the Image Intelligent

画像を智能化する

"To create innovative products and services that harness the power of image intelligence to solve real-world problems and drive value for our stakeholders."

画像インテリジェンスの力で現実世界の問題を解決し、ステークホルダーに価値をもたらす革新的な製品とサービスを創造する

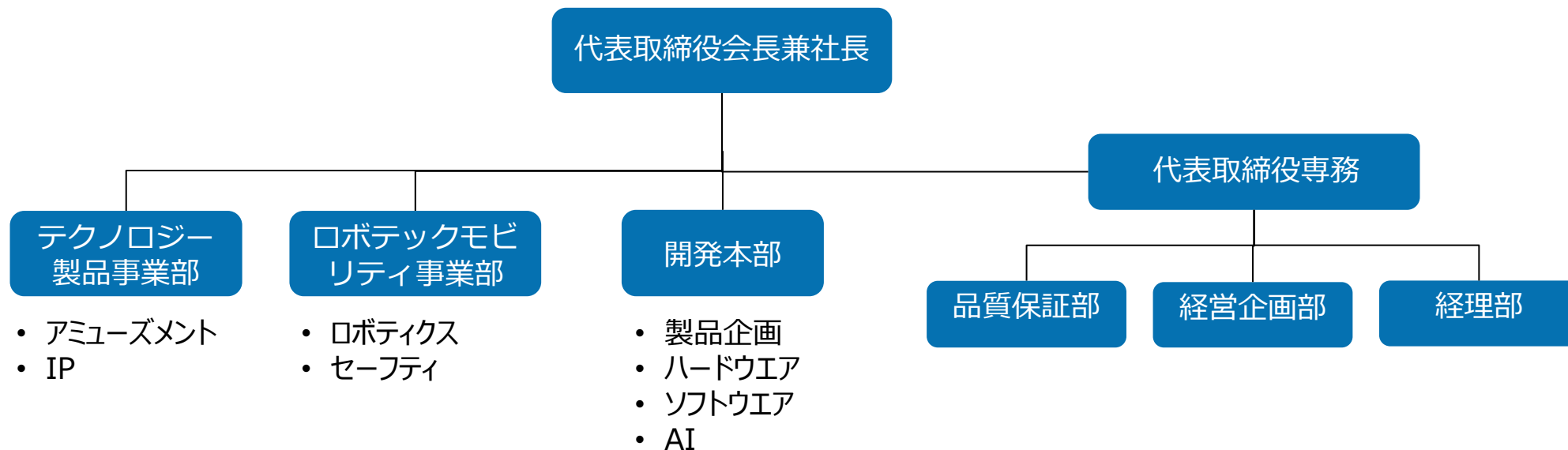


DMPは創業以来、GPU、コンピューティング、エッジAIを通じ一貫して画像関連技術に取り組んできました。今後も画像の知能化で社会に貢献していきます

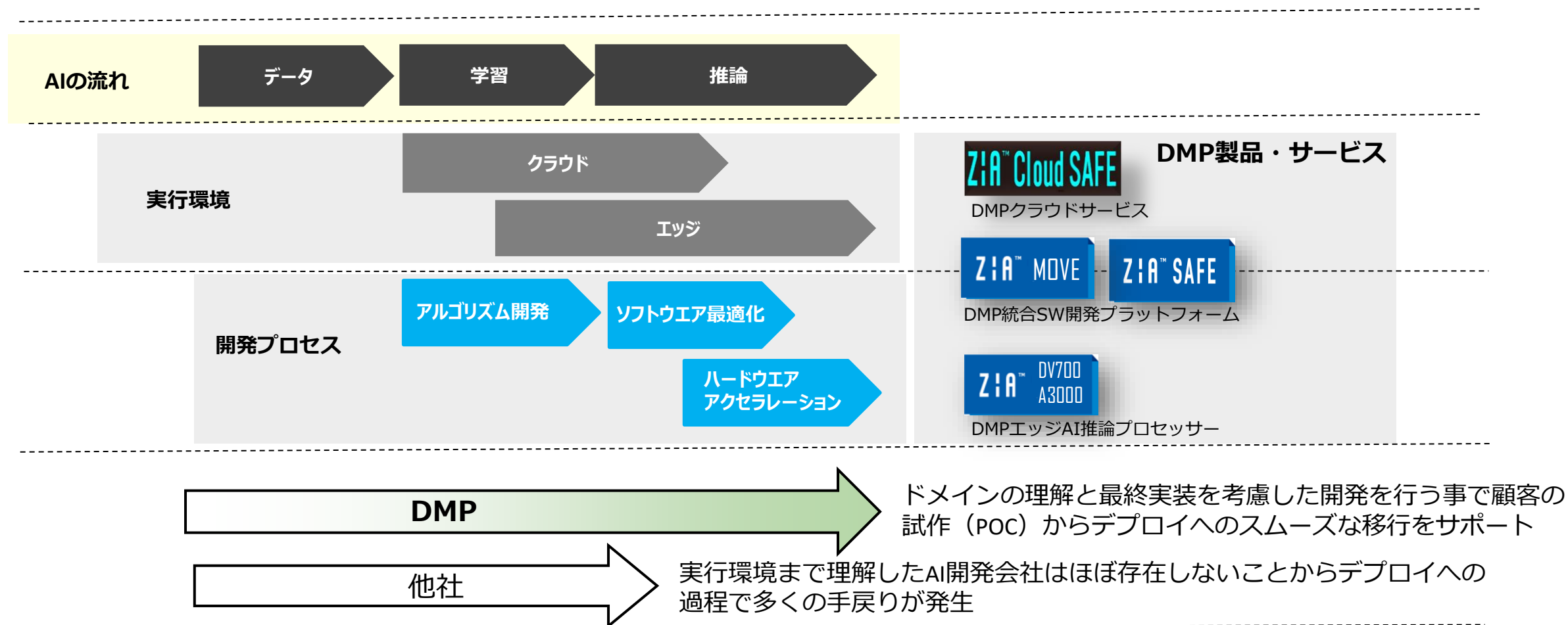
- 今後GPT4などの新たなAI技術がテキストだけではなく画像を理解、日々生み出される膨大な画像から価値ある洞察やパターンを抽出する事が可能に
- 画像の理解が様々な分野で新たな価値を生み出し、人々の生活を改善し、安心安全な社会の実現に貢献する
 - 監視カメラ画像による犯罪やテロの防止
 - 自動運転車における車内外の監視による安全運転実現
 - 自律型ロボットの運用や人間との安全なインタラクション
 - 医療現場での画像の解析による病気や異常の早期発見
- エッジAIが画像利用におけるプライバシー問題など重要な課題の解決になる

既存分野と新規分野のバランスの取れた成長を目指す

- テクノロジー製品事業部とロボテックモビリティ事業部を新設、LSI及びIPビジネスと、新規分野であるロボティクス及びセーフティ関連ビジネスにそれぞれが注力できる体制を作りました
- ハードウェア、ソフトウェア、及びAI開発を開発本部に統合し、リソース最適化と設計資産の共有化を進めます
- 開発本部内に製品企画グループを設けることでより市場の要求にこたえられる体制にしました



DMPはAI処理をハードウェアを含めてドメインに最適化することが可能



アミューズメント



アミューズメントSoC RS1
画像モジュール

AI推論プロセッサIP
カメラIP (ISP &
Stereo)
GPU IP
カメラモジュール

GPU

ロボティクス



自律運転技術
Visual SLAM
ピッキングシステム

省電力 IP

セーフティ



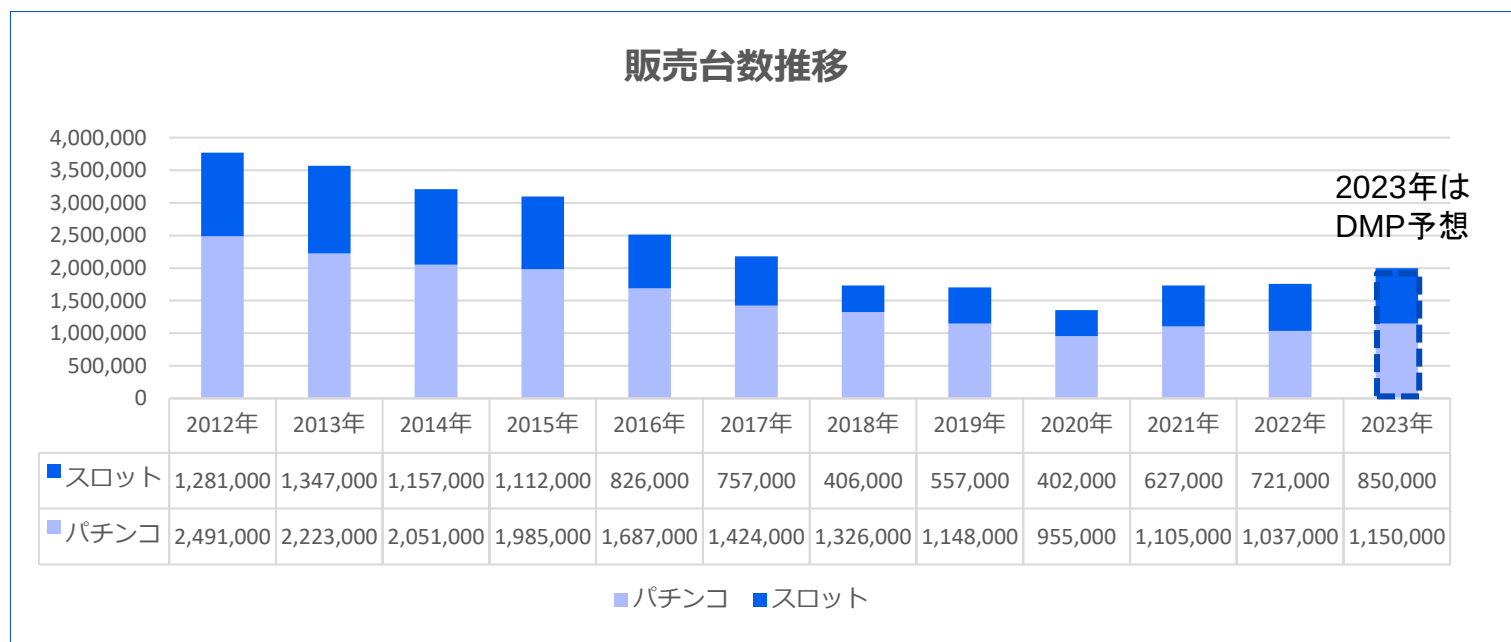
安全運転支援システム
DMS/ ADAS
クラウドサービス

エッジ&クラウド
コンピューティング

コンピュータ
ビジョン



- 市場規模は縮小底打ち傾向、RS1の主戦場であるパチスロが5年ぶりに70万台に回復し市場を牽引
 - － パチスロは6.5号機とスマスロ登場による入替えが進む
 - － パチンコ・パチスロともに導入後の高評価にもかかわらず、部材不足で思うように販売できず伸び悩む機種も
- RS1について
 - － 業界唯一の2D・3Dグラフィックス搭載LSIである強みを生かしシェア拡大
 - － セガサミー以外の複数顧客で搭載機種の出荷が開始されることで今後さらなる売り上げ増を見込む
 - － 今後ZEEG共通筐体普及拡大を通じ顧客増加を見込む



RS1：業界唯一の2D・3Dグラフィックス搭載LSI

(出典：パチンコ・パチスロ販売実績2022 (pachinkovillage.com))

ZIA MOVE :

差異化ポイント：ローコストで環境変動に強いVSLAMをベースに自律運転のフルパイプラインを実現

VSLAMの特徴を生かし流通、製造、ビル、建設といったサービスロボット向けにAMR/AGVベンダーとの協業を進める



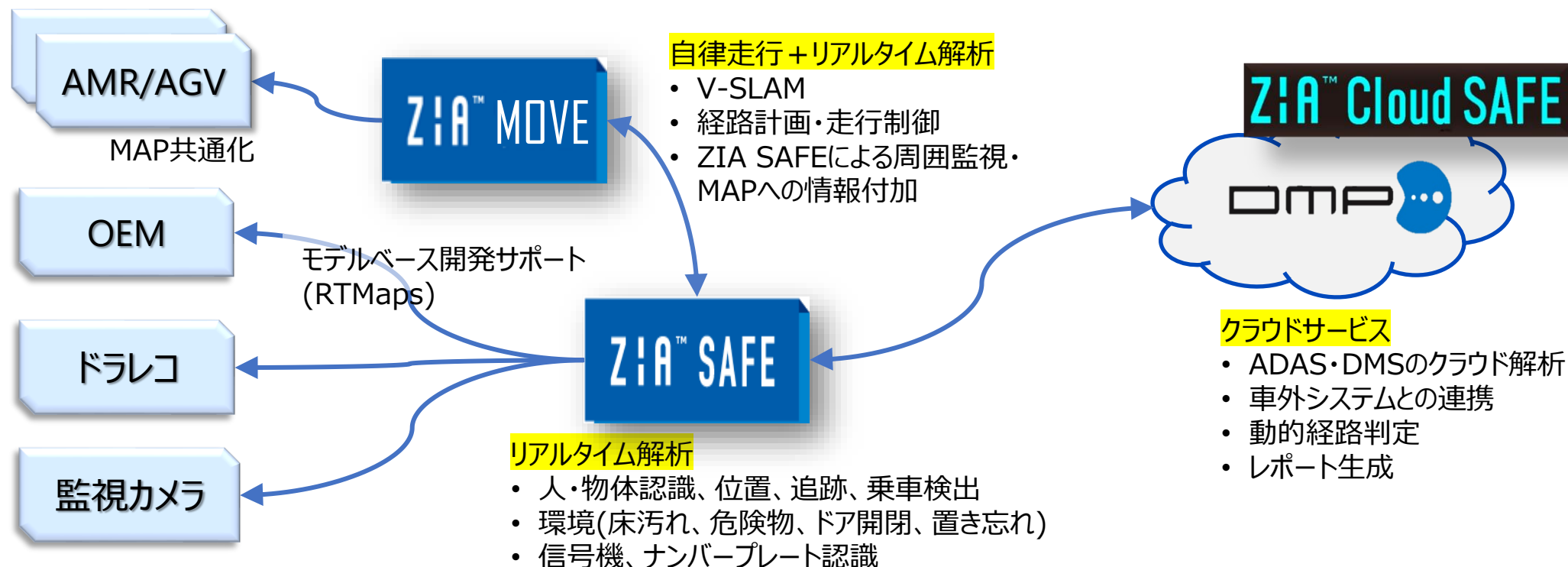
ZIA SAFE / ZIA Cloud SAFE :

差異化ポイント：認識性能の高さ及びエッジとクラウドの組み合わせによる柔軟でスケーラブルなシステム構成

- ・ ドラレコ以外のセーフティ市場（監視カメラ、公共交通機関車両内外、ビル、学校、保育園等）を開拓
- ・ ZIA SAFEをモデルベース開発(RTMaps)に対応させ、自動車OEMやTier1、建機業界への導入を図る

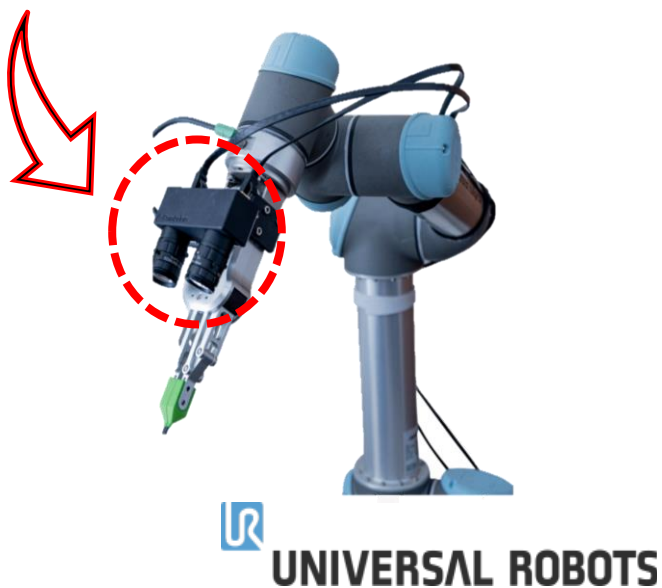


- ZIA SAFEとZIA MOVEの協調動作によるロボット自律走行中の画像解析、及びMAPによる画像解析位置の可視化
- ZIA Cloud SAFEサービスによるBIG DATA解析に基づく傾向分析や、外部システムとの連携サービスの提供



- 複数の顧客で組み立てラインへ導入が始まる。大手自動車、Tier1でも試験導入が進み今後インライン化が加速する見込み
- 主要ロボットアームベンダーとの連携強化、新たにDoosan, FanucとDenso Waveをサポート
- 構築したディーラー網の活用、ディーラー自らのデモ・販促力強化

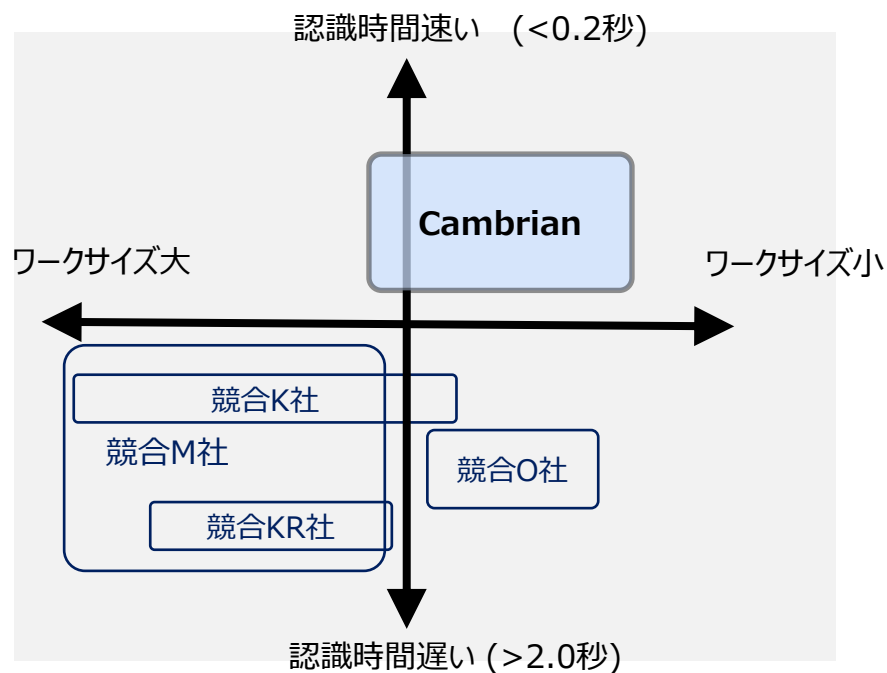
市販ロボットアームにカメラを取り付ける事でピッキング、組み立て、挿入、動作など各種作業が可能に



競合に対する明らかな優位性により新たな市場セグメントを開拓（例：ペットボトルのピックアップ）

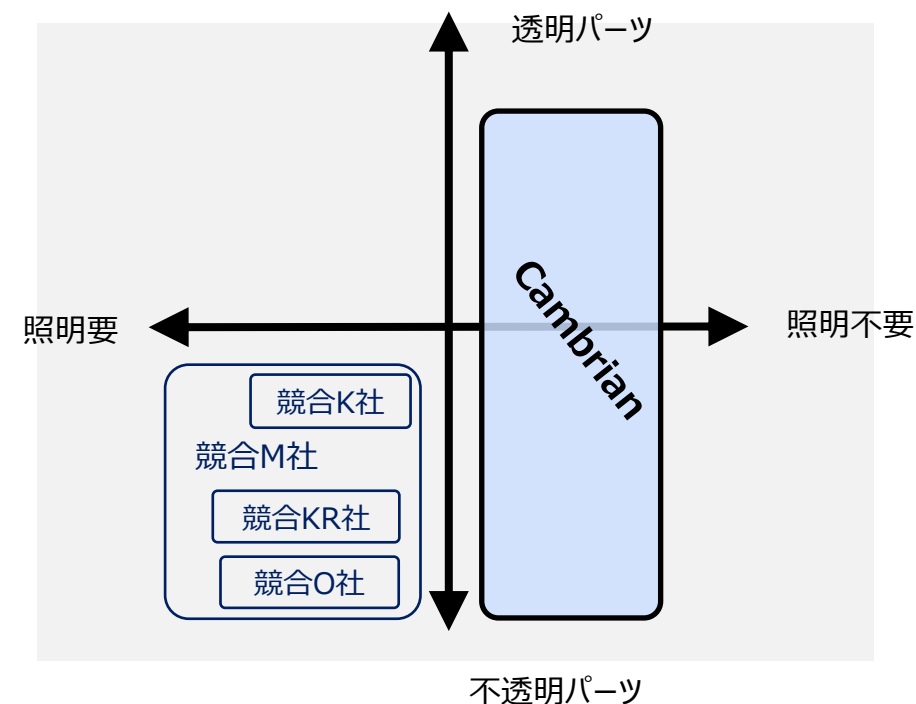
処理スピードとワークのサイズ

Cambrianは1mm以下の小サイズのワークを0.2秒以下の高速で認識可能



ワークの色と外部照明

Cambrianは照明無しで環境で使え、透明及び不透明ワークを認識できる



透明ボトルの正確な姿勢を認識し後工程へ供給

- 上下判定を行う
- ボトルの姿勢を加味しピックアップする事で後工程へ供給





ファクトリーオートメーション



DMP AI 推論プロセッサIP

- ZIA DV740
- A3000



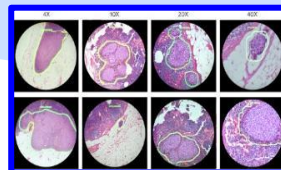
コンシューマ製品



建機/農機



監視カメラ
スマートシティー
ファシリティーマネージメント



医療



ロボティクス



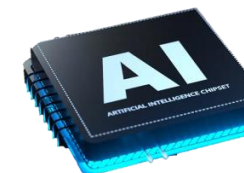
モビリティ



FPGA



ASIC



DV700シリーズ REGZA他ハイボリューム製品に採用実績



DMP AIプロセッサDV720がレグザの新プロセッサZRαに採用

リアルタイムでの高ビット精度の信号処理と最新の超解像を実現



シーンの遠近の判別によるフォーカス



ネット帯域に対応した画像エンハンス



美肌



ノイズ低減

次世代AI推論プロセッサIP A3000



DV740に対し6倍の性能
(4TOPS)

2023年度第2四半期よりライセンス開始

ZIAプラットフォームとCambrianを中心とした AI製品ビジネスの強化

Cambrian Vision System : インライン導入拡大

ZIA MOVE: AMR/AGVベンダーとの協業推進

ロボティクスとセーフティの連携

ZIA SAFE : ドラレコ以外の市場, OEMへの展開

アミューズメント、IP製品のシェア拡大と付加価値増大により力強い成長を継続

新AI推論プロセッサIP A3000ライセンス

RS1顧客ベース拡大及びパチスロ市場回復

<お問い合わせ先>

株式会社デジタルメディアプロフェッショナル 経営企画部

TEL:03-6454-0450

URL: <https://www.dmprof.com/jp/ir/>

- 本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ環境や当社の関連する業界動向等により変動することがあります。従いまして、実際の業績等が、本資料に記載されている将来の見通しに関する記述と異なるリスクや不確実性がありますことをご了承ください。
- 本資料は、弊社をご理解いただくための情報提供を目的としたものであり、弊社が発行する有価証券への投資を勧誘するものではありません。本資料に全面的に依拠した投資等の判断は差し控え願います。